

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 低心機能患者に対する心房細動アブレーションにおける有効性と安全性の検討

[当院研究責任者] 部署名 循環器内科 氏名 坂本裕資

[研究の背景] 心房細動 (AF) に対するカテーテルアブレーションは確立された治療であり、現在では治療の第一選択となっている。アブレーションは薬物治療と比較して洞調律維持に優れており、また早期のリズムコントロールが予後を改善することが示されている。左室機能低下患者に合併する AF のアブレーションにおいて薬物治療と比較して予後を改善させ、心機能回復にも有効であることは報告がされている。ただし、左室機能軽度低下例 (mid-range EF) を含んだ報告はほとんどなく、心不全や腎機能の改善にどれほど効果があるのかは不明な点が多い。

[研究の目的] 本研究の目的は、左室駆出率 (LVEF) < 50% の慢性心不全患者に合併した AF に対するアブレーションの有効性と安全性を検討することである。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2017年4月から2021年12月までの期間において当院で初回のAFアブレーション（発作性、持続性両方含む）を施行したLVEF<50%の患者

●研究期間： 実施許可から 2023年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、心房細動の罹患期間、持続形態原因疾患（発作性、持続性、長期持続性）心不全入院歴、併存疾患の有無（高血圧症、灯明病、脂質異常症、脳卒中、閉塞性肺疾患、悪性腫瘍など）、自覚症状、内服薬情報、その他不整脈合併症の有無

●利用する検体、カルテ情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直

ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 循環器内科 氏名 坂本裕資

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139